

# 田之浦夜神楽 蔵か

志布志市の田之浦山宮

神社の田之浦夜神楽（県無形民俗文化財）が、田之浦ふるさと交流館であった。24段の荘厳な舞が

志布志

奉納され、山あいの集落に笛や太鼓の音が響いた  
写真。

田之浦夜神楽は戦時中途絶え、1983年に保存会が結成され復活。隔年で開いている。保存会

を中心に田之浦小学校の児童、卒業生が11月30日夜、児鬼神舞や十二神剣舞などを披露。田ノ神舞では、田の神役と百姓・田吾作役が鹿兒島弁でユニークな掛け合いを演じ会場を沸かせた。

巫女舞を舞った田之浦小6年、      さんは「相手と息を合わせて踊った。伝統を受け継いでいきたい」。帯を持って3人で舞う帯舞を担当した同校卒業生の志布志中2年、      さんは部活後に毎週1回稽古して備えた。「複雑なので間合いを保つのに気をつけた」と話した。  
(福留梓)

